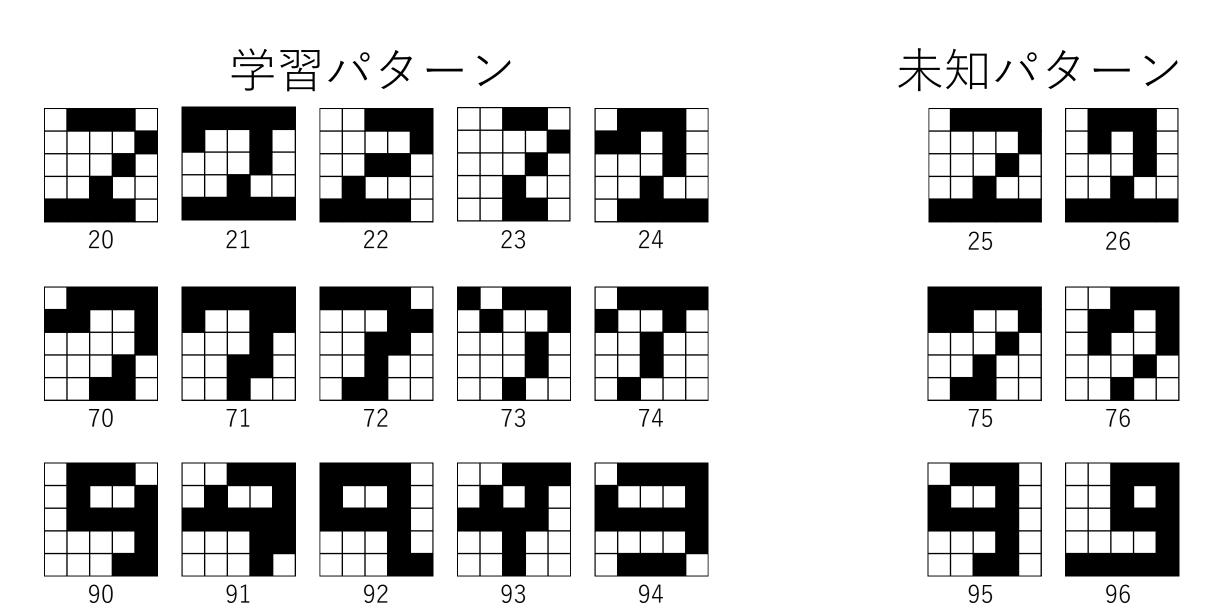
最近傍決定則による文字認識

- パターンは5x5の25次元2値ベクトル (d=25)
- 数字3種(3クラス)の認識
- ・学習パターンは各クラス5文字ずつ
 - それらの平均によりプロトタイプを作成
 - 3つのプロトタイプができる
- 未知パタンの1つを入力として プロトタイプとのユークリッド距離を求める
- 距離が最小となったものを認識結果として出力

最近傍決定則による文字認識

- d次元2値特徴ベクトル(d=25)
 - 特徴ベクトル $\mathbf{x}_i = (0,1,1,0,1,0,...,0)$
- プロトタイプは学習パターンの平均(実際には和)
 - $\mathcal{J} \Box \vdash \mathcal{J} \dashv \mathcal{J} \mathbf{p} = \sum_{i=0}^{4} \mathbf{x}_i$
- 照合はプロトタイプpと未知パターンxのユークリッド距離(の2乗)
 - $d(\mathbf{x}, \mathbf{p}) = |x p|^2 = \sum_{j=0}^{d} (x_j p_j)^2$

学習パターンと未知パターン



未知パターンとの距離計算

